



経済産業省 同時発表

平成 29 年 12 月 13 日
自動車局技術政策課

一般公道における国内初の車両内無人による遠隔型自動運転の 実証評価（輪島市）を開始します ～移動革命の実現に向けた無人のラストマイル自動走行～

国土交通省・経済産業省は国立研究開発法人産業総合研究所に委託して開発した自動運転レベル4相当の技術を搭載した車両を用いて、平成29年12月18日に石川県輪島市の一般公道において、遠隔にいる運転者の監視・操作の下で国内初の車両内無人による遠隔型自動運転の実証評価を開始します。

無人自動走行による移動サービスは、過疎地等において、公共交通の運営コストを抑制し、運転者不足を解消、徒歩移動の負担軽減等の観点から、自治体や地域交通事業者からのニーズが高まっています。

国土交通省・経済産業省では、「未来投資戦略2017（平成29年6月9日閣議決定）」に基づき、移動革命の実現にむけた主な取組の一つである無人自動走行システムの移動サービスを2020年に実現することを目指し、「高度な自動走行システムの社会実装に向けた研究開発・実証事業」を実施しています。

本事業の一環として、産総研が開発した自動運転レベル4相当[※]の技術を搭載した車両を用いて、遠隔にいる運転者の監視・操作の下で、国内初の車両内無人による自動運転の実証評価を開始することとしました。

※ 実証は、遠隔からの運転者が車両運転に係る義務等を負うレベル2で行う。

<実証評価車両の出発式 概要>

日 時 : 平成29年12月18日（月）13:30～

場 所 : 石川県 輪島市

取 材 : 別紙参照

本実証実験は、天候等により変更となる可能性があります。

【お問い合わせ先】

自動車局 技術政策課 笹本・久保

代表 : 03-5253-8111（内線 42256、42216）

直通 : 03-5253-8591

FAX : 03-5253-1639